



藤永 勝巳社長

工作機械の稼働状況をリアルタイム把握

～直方精機株式会社のIoT導入事例・生産性UPに向けて～

当社は自動車部品の製造を行っています。
今回の取り組みは、生産部品に関するさまざまな情報を、離れた場所にいる
経営者もリアルタイムに把握したいと考えたことがきっかけです。



Before

リアルタイムに状況 が分かるのは現場だけ

現場の状況や工作機械の異常発生などについて
経営者が現場からの報告を受けて対応に取り掛
かるのではタイムラグが生じ、経営に影響が出て
しまう可能性があると考えました。また、記
録不備などにより原因不明の不良が発生するこ
とが大きな問題となっていました。

生産管理情報を無線で送信



ゲートウェイPC



PLC

After

現場から離れていても、
リアルタイムに
モニタリングできるぞ！

経営者がリアルタイムに 稼働状況を把握し 素早い対処が可能！！

工作機械の稼働状況を瞬時に把握できるよう
になり、計画通りに作業が実施されているか
確認できるとともに、問題が生じた場合には
適時対応ができるようになりました。

また、異常がなぜ、いつ発生したのかについ
ては、記録データを見ることで、生産停滞の
理由・不良の理由を把握でき、素早い対処が
できています。



今後はタブレットでも
管理する予定

今後は全機に装置を搭載し、集めたデータを分析して、生産管理だけでなく
労務管理などの経営判断にも活かしていきたいです。